

敦賀市庁舎及び消防庁舎 施設概要説明書

本施設概要説明書は、敦賀市が委託する業務を行うにあたって必要な事項等を示したものである。施設概要は以下に定めるものを基本とし、市や市庁舎建設基本計画策定委員会等との協議を踏まえて、よりよい施設に成熟することを目的とする。

1 立地条件

- (1) 建設地 : 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号(現 敦賀市庁舎敷地)
- (2) 敷地面積 : 15,185.23㎡
- (3) 地域地区 :
 - ・用途地域 第一種住居地域
 - ・建ぺい率 60%
 - ・容積率 200%
 - ・防火、準防火 指定なし
 - ・日影規制 あり
 - ※ 測定面:平均地盤面からの高さ4m
 - ※ 規制値:敷地境界から5~10m/5時間、10m超/3時間

2 施設等の概要

- (1) 敦賀市庁舎の基本理念と基本的機能
 - ① 市民の安全安心を確保した災害に強い庁舎
 - i 被災時における業務継続
 - ii 確固たる防災拠点
 - iii ライフラインの確保
 - iv 安心確保対策
 - ② 市民が利用しやすい親しみの持てる開かれた庁舎
 - i 市民利便機能と市民活動支援機能
 - ii 窓口機能と相談機能
 - iii 高度情報化に適応できる庁舎
 - iv 議会機能
 - ③ 人にやさしい環境にやさしいストレスフリーな庁舎
 - i ユニバーサルデザイン
 - ii 省エネルギー・省資源
 - iii 十分な駐車場・駐輪場
 - iv 長寿命化
 - v シンプルデザイン
 - ④ 行政サービス提供のための機能性に優れ柔軟で効率的な庁舎
 - i 機能的なサポートスペース
 - ii 効率的な運用管理
 - iii メンテナンスのしやすさ
- (2) 消防庁舎(敦賀美方消防組合消防本部及び敦賀消防署)に必要な機能
 - ① 災害活動拠点機能
 - i 消防車庫

消防本部と敦賀消防署が有する消防車両をすべて収容し、はしご車等の大型車の出動に支障がない広い幹線道路に面し、前面には車両点検や洗車をするための空地を設ける。車庫内は、消防車両が地震等の揺れでぶつかることがない離隔距離を取り、将来の車両増にも対応できるスペースを確保する。

ii 出動体制

消防車両の出動に際して、外来者の車両と交差しない動線を確保する。

庁舎内においても、出動する消防隊員と来庁者の動線を分離する。また、隊員が素早く出動態勢をとれるように事務所等の配置に留意し、出場準備室や救急・救助資機材格納庫等の付帯施設を最適な位置に設ける。

iii 広域応援

大規模広域災害が発生時に、緊急援助隊等が迅速・的確・効率的に活動が行えるように、必要な施設・設備を整備する。

② 室内訓練機能

隊員の体力強化を図るためトレーニング室を整備する。

③ 市民啓発拠点機能

i 講習室講堂

平常時は、住民啓発施設として研修会や各種講習会を行うことができる機能（可動間仕切り、スクリーン、放送設備など）を有し、年2回の組合議会定例会等も開催でき、非常時には消防活動拠点として活用できるバックアップ機能を有する多目的講堂を整備する。

ii 防災展示コーナー

各種消防統計や広報資機材、消防用設備等を展示し、市民の防災知識の向上と消防用設備等の取扱いの普及啓発を図る。

③ その他

i 安全性

大地震や台風などのいかなる自然災害にも耐えられる安全性を確保する。

ii 省エネ性能

自然エネルギーの活用と各種省エネルギー機材を導入し、環境保護や経済的合理性に優れた庁舎とする。

iii バックアップ機能

消防活動をバックアップするため、空気ボンベ充てん施設、救急消毒室、ホース洗浄乾燥設備、車両整備場その他を整備する。

iv その他

消防本部として機能するために、事務所や書庫等を整備するとともに、消防署員が日常的に使用する仮眠室等にあっては、プライバシーや衛生面に留意する。

(3) その他

① 防災センターは既存のままとし、新庁舎は接続を考慮した配置とする。

② 原則として仮設庁舎が必要とならない計画とする。

3 その他の諸元

(1) 市庁舎

延べ面積は10,000㎡程度とする。

工事価格は3,618,000千円（純工事費）を超えない提案とする。

①現在の庁舎規模

室名	面積
事務室等	2,729.69 m ²
会議室、便所、その他諸室	2,870.59 m ²
倉庫	411.22 m ²
玄関・広間・階段・廊下等	2,372.51 m ²
議会関係	924.50 m ²
計	9,308.51 m ²

※本館、別館の合計（防災センターの市使用分は含まず。）

②庁舎整備時の想定職員数

区分	職員数
特別職(市長、副市長、教育長)	4人
部長	11人
政策幹、課長	31人
主幹、課長補佐	53人
係長	64人
主査、主事、技師	148人
その他(自動車運転手、配管工、嘱託、臨時)	119人
計	430人

(2) 消防庁舎（敦賀美方消防組合消防本部及び敦賀消防署）

延べ面積は2,200 m²程度とする。

工事価格は602,000千円（純工事費）を超えない提案とする。

①現在の庁舎規模

室名	面積
消防本部・敦賀消防署	1,623.11 m ²
敦賀消防署	546.17 m ²
敦賀消防署仮眠室	123.18 m ²
計	2,292.46 m ²

※防災センターの消防使用分は含まず。

②庁舎整備時の想定職員数

区分	職員数
消防長	1人
副消防長、次長	3人
課長	4人
課長補佐、係長	16人
一般職員	22人
計	46人

③所要室

i 消防本部

事務室	150 m ² 程度
消防長室、副消防長室	計50 m ² 程度

給湯室、サーバー室、男女更衣室 書庫、倉庫	適宜
計	280 m ² 程度

ii 敦賀消防署

事務室	170 m ² 程度
署長室、団長室	計40 m ² 程度
仮眠室	4 m ² ×20人
食堂・厨房	50 m ² 程度
住民講習室 兼 講堂	370 m ² 程度
消防車庫	400 m ² 程度
出場準備室（防火衣着装室）	90 m ² 程度
救急消毒・資器材庫、消防活動用資器材庫 救助活動用備品資器材庫、消防団資器材庫	各20～40 m ² 程度
訓練室	50 m ² 程度
ホース乾燥室、ボンベ充填庫 男性隊員用更衣室、女性隊員用スペース 浴室・脱衣室、洗濯乾燥室、リネン室 会議室	適宜
計	1680 m ² 程度

iii 共用部

必要諸室 240 m²程度

(3) 駐車場

① 市庁舎

「敦賀市庁舎建設基本構想」による。

② 消防庁舎

公用車用として150 m²程度を確保する。